乾徳山山行報告書

さる 2009 年 4 月 26 日（日）、山梨百名山のひとつであり、標高も 2031 m と高い乾徳山に新歓山行として行ってまいりました。尾根沿いあり岩場ありのバラエティー豊かな道と、雄大な眺望を楽しむことができました。コースは以下の通りでした。

八王子駅（集合）―（JR 中央本線）―塩山駅―（タクシー）―乾徳山登山口―国師ヶ原―乾徳山頂（昼食）―国師ヶ原―乾徳山登山口―山梨交通バス停（解散）

参加者は、

M４　木暮、橋本

M３　大橋、後藤、只左、森本

M２　衛藤、山澤

M１　石出、今村

Ｃ１　荒川、佐藤

と、合計 12 人の賑やかな山行でした。

朝は 6：20 に八王子駅に集合し、塩山駅に 7：50 頃に到着しました。初バスでも時間的に遅かったのでタクシーで乾徳山の登山口近くまで向かい、自己紹介をしたり服装を整えたりしたのち、8：40 頃に登山を開始しました。新入生が二人（荒川くん、佐藤さん）も参加してくれたこともあり、盛り上がりました♪



いざ出発しようという時になって雹が降ってきて心が折れそうになりましたが、回復も早くてよかったです。そして、登山口に 9：00 頃に着き、いよいよ登山開始となりました。



最初はなだらかな登りが続きました。カラマツの新緑が青空に映え、とてもきれいでした。空気も適度に水を含んだ感じで、すがすがしかったです。





国師ヶ原に 10：30 頃に到着し、只左さんのクッキーを頂きつつ休憩をとりました。当日は８の字を描くように歩いたのですが、ここがその交差部となりました。



乾徳山の頂上がまるで目前のようでした。



また、富士山もはっきりと見えました。（写真中央、頭に雲を少しかぶっている）



国師ヶ原を出てからしばらくは草原となり、景色がひらけていました。









扇平を 11：00 頃に通過しました。（振り返ると大菩薩領が見えました。）

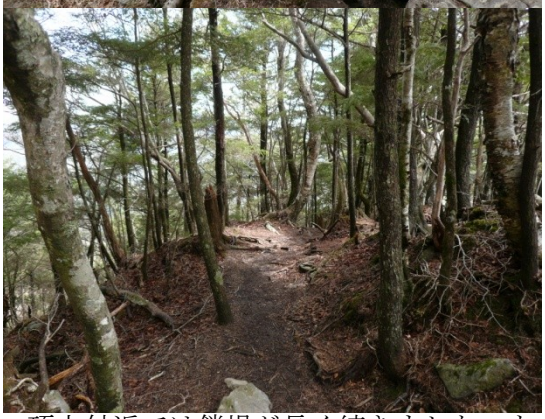


だんだん道が険しくなってきました。低気圧の影響か、尾根に出ると風を非常に強く



感じました。吹き飛ばされそうな勢いで、歩いていても寒いほどでした。

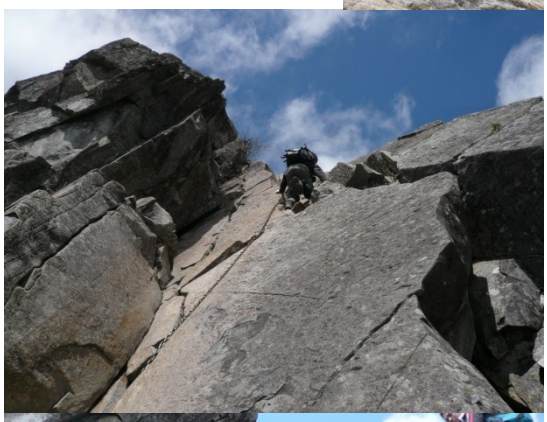




頂上付近では鎖場が長く続きました。もし落ちたら一巻の終わりだと思うと筆者は足が竦んでしまい、先輩がたに助けていただいたおかげで何とか越えられました。登るときには泣きそうなほど怖いのに家に帰るとまた行きたくなってしまうのは、不思議です。



山頂直下には一枚の大きな岩もあり、すぐ近くから見るとまるで垂直な壁のように見えました。









鎖も長かったので一人ずつ登り、山頂に全員が着いたのは12：50過ぎになりました。記念に全員で集合写真を撮りました。（荒川くん前列右端、佐藤さん前列左から

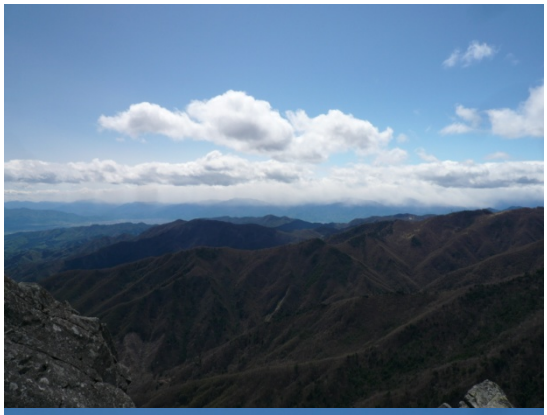
二人目）



　持参のお弁当＆持ち寄ったお菓子でお昼にしました。岩だらけで広いとはいえない山頂でしたが、くつろげました。
　朝の雹が嘘だったように晴れて、景色がとてもよかったです。金剛山も見えました。





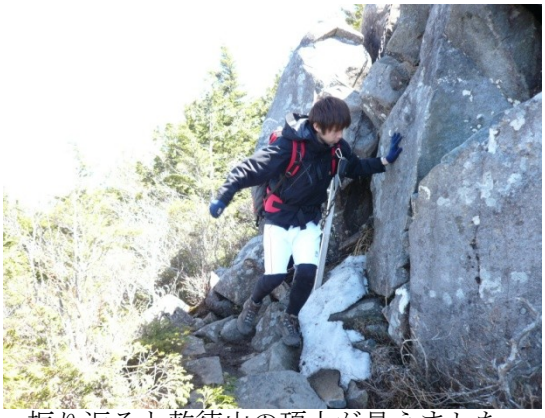




　13：30 頃から下山を開始しました。



　最初のうちは鎖や梯子がある岩場が多く、また、もうすぐ 5 月だというのに雪もところどころ残っていました。



振り返ると乾徳山の頂上が見えました。



原生林迂回新道を通って国師ヶ原に向かいました。途中で道が分かれてしまうところもありましたが、結果的に無事に帰れてよかったです。





15：00頃に国師ヶ原に着き、大平ヒュッテの前で少し休憩しました。見る方向で印象が違ってなかなか気づきませんでしたが、もう出発地の近くに戻ってきたのだとほっとしました。



帰りは、行きとは違う道満尾根のルートをとりました。歩きやすい道になったこともあり、徳和に向けて少しペースを上げながら進みました。











分岐が多く、どちらに行けばいいのか迷うところも数多くありましたが、途中から徳和の集落が見えて安心しました。16：20頃、無事に登山口にたどり着きました。



集落の間を少し歩いたのち、16：40過ぎにバス停の前で解散となりました。天候に恵まれたことに感謝しつつ、7人は予定通り窪平の温泉（はなかげの湯）に向かい、5人は塩山駅へそのまま帰りました。

